



プレスリリース

2014年1月23日

報道関係各位

## GE センター・フォー・グローバル・イノベーションを東京・赤坂に開設 産官学での協業を通じイノベーションをさらに促進

日本 GE は、東京都港区赤坂の日本 GE 本社内に、お客様やパートナーとの協業を積極的に推進し、新たなイノベーションを創造する中核拠点として、GE センター・フォー・グローバル・イノベーションを開設いたしました。

GE が世界の経営層を対象に毎年実施しているイノベーションをテーマにした意識調査「グローバル・イノベーション・バロメーター」によれば、イノベーションを牽引する、また、イノベーションの環境が整備されているという点で日本は世界有数の国に挙げられています。さらに日本には優れた技術を有する企業が数多く存在していることから、日本はさらなる協業等の取り組みによって、世界に向けたイノベーションを数多く発信しうる最適な環境と GE は考えています。

そこで企業、研究機関や自治体といった産官学における幅広いネットワーキングによる協業を促進し、社会やお客様の課題を解決しうる数多くのイノベーションを創りだすため、以下の特徴を有する GE センター・フォー・グローバル・イノベーションを開設いたしました。

### 1. イノベーションの共創に最適な空間：コラボレーションをおこなうため、多彩な用途に対応した機能的な空間（別紙参照）

大人数向けのセミナールームやグループ・セッション向けに可搬性ある家具によるレイアウトが可能なルーム、また技術的な議論を深めるエンジニアリングルーム、映像を用いたプレゼンテーション等に利用するルームやリラックスできるカフェ等、目的に応じた様々な機能の空間をワンフロアに備えています。

### 2. イノベーションの発想のためのツール：技術的な協業を推進する最新デジタル機器・ツールの設置

海外や国内の研究開発拠点やオフィスを結ぶテレビ会議、電話会議システム、タッチパネル式の大型スマートボードや、どのルームからでもアクセスして様々な資料や動画コンテンツを閲覧することが可能な専用ネットワークサーバー等を設置し、アクティブかつスムーズな議論や情報交換を活発にする工夫をしています。

### 3. イノベーションの創造・醸成に向けた新たな手法：GE 社内で利用されている様々なメソッドの導入

GE が世界で展開しているプロジェクトマネジメント手法や、アイデアを生み、課題を解決するためのワークアウト手法、また新製品やサービスの開発手法としてリーン・スタートアップの考え方を取り入れた「ファストワークス」等を積極的に導入し、より生産性の高い議論をおこなう様々なメソッドを導入してまいります。

「GE のようなグローバル企業が日本において、新しい技術的なパートナーシップを開拓し、さらに日本発のイノベーションが世界に展開するようになれば、日本の技術や競争力をいっそう高めることに寄与すると考えます。」と独立行政法人・日本貿易振興機構（ジェトロ）からコメントをいただいています。

「GE センター・フォー・グローバル・イノベーションは、お客様・パートナーの皆さまと GE が一緒になって新たなアイデア、技術、ビジネスモデルを生み出すコラボレーション、コ・クリエーションの「場」にしたいという想いでデザイン・設計された空間です。これから多くのお客様やパートナーの方々をお招きして、日本における新たなイノベーションの拠点となることを願っています。」と大塚孝之・GE グローバル・イノベーションセンター長は抱負を述べています。

なお本施設は、経済産業省及び独立行政法人・日本貿易振興機構（ジェトロ）による平成 24 年度「アジア拠点化立地推進事業」の採択事業です。

## GE センター・フォー・グローバル・イノベーション概要

所在地：	東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル 13 階
建物概要：	延床面積 約 1,468.86 m <sup>2</sup>
開所日：	2014 年 1 月 22 日
営業時間：	平日・月曜日から金曜日 9:00-18:00

### GE について

GE は、世界が直面している困難な課題に取り組む企業です。人材とテクノロジーを最大限活用して、インフラ構築、電力供給、運輸や医療、金融に関わるソリューションを提供しています。日本において GE は、より安全でクリーンなエネルギーの供給や、急速に進む高齢化に対応する医療サービスなどに取り組んでいます。これらの課題を解決するために、技術革新を進め、ステークホルダーと協働して、日本の再生と持続的な成長を目指しています。エジソンを創始者とする GE は、イマジネーションを大事にするとともに、実行する会社でもあります。課題解決のために行動を起こす、それが GE です。日本における GE の活動については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧下さい。

#### <本件に関するメディアの方からのお問合せ先>

日本 GE 株式会社 PR 事務局（イニシャル内） 担当：稲垣、油井、浅原  
Tel：03-5572-6062 Fax：03-5572-6065 E-mail：[ge\\_japan@vectorinc.co.jp](mailto:ge_japan@vectorinc.co.jp)

(別紙) GE センター・フォー・グローバル・イノベーション施設概要

	施設概要	機能	写真
1	課題・機会について議論を深める「イシュー・オポチュニティルーム」	大型の円形テーブルを設置し、議論への参加意欲を刺激。スマートボードには、ネットワークに繋がったコンテンツが上映可能	
2	技術的な共創に最適な「エンジニアリング・ソリューションルーム」	3面のスマートボード、CADやテレビ会議システムを設置。技術面での意見交換・議論を活発にする機能を有する	
3	海外の研究開発チームとの議論や意見交換を容易にする「テレビ会議ルーム」	大型モニター付のテレビ会議システムが設置され、海外のオフィスを結び、コミュニケーションを円滑にする	
4	ステークホルダーの方々と意見交換をするのに適した「VP ミーティングルーム」	必要最小限の機器のみを設置することで議論に集中できる空間。開放的な眺望を有する	
5	活発なグループディスカッションやセミナー等をおこなうために適した「ワークアウトルーム」	スマートボードやプロジェクター等を設置し、内容や人数に合わせ柔軟に対応できる可動式の壁や机で構成	
6	映像や画像を利用したプレゼンテーションに最適な「エグゼクティブレビュールーム」	映像上映やプレゼンテーションをおこなう大型スクリーンやAV設備・音響機器を設置	
7	壁を移動させることで100名規模のセミナーや研修等にも活用できる大型の「エンジェルルーム」	同時通訳設備やテレビ会議、電話会議システム等、多目的な用途に対応するスペース	
8	簡単な打ち合わせやネットワーキングのための「コネクタカフェ」	開放的な空間で、打ち合わせや休憩などに利用できるスペース。ネスレのコーヒーマシンは寄付金で運営されている	
9	受付・レセプションスペース	GE の創業者・トーマス・エジソンが白熱灯のフィラメントに利用した日本の「竹」をシンボルに据え、お客様をおもてなしする空間	